

# 白樺逆転勝利

## 足寄に4-2

### 秋季 高校野球 十勝支部予選

第2日の白は帯広の森野球場でBブロック1回戦を行い、今夏の支部代表同士の対戦となった注目カードは白樺学園が4-2で足寄に逆転勝ちした。白樺学園は7日の準決勝で帯広と対戦する。初日9月30日のAブロック1回戦は帯三条が七回コールドの7-0で芽室に快勝し、帯大谷は序盤のリードで帯柏葉に10-5で勝利して共にブロック4強入りした。(小野寺俊之介、金野和彦)



白樺学園が鮮やかな逆転勝ちで足寄を退けた。1-1塁とした後、久保の遊撃強打で迎えた四回、富澤、大襲の適時内野安打で同点。

さらに宮坂の犠打で1死二、三塁まで好機を広げると、半澤の2点適時左前打で勝ち越しに成功した。先発の半澤は五回2失点、六回から継投した宮坂は無安打に抑える快投を演じた。足寄は一回、先頭の木村悠が左越え一塁打、大橋が右前打でつなぎ無死一、三

Scoreboard showing game progress for Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat, Sun with runs, hits, and errors (R, H, E) for both teams.

## 帯三条の左腕エース山田

帯三条の左腕エース山田直弥(2年)が快投でチームの初陣を飾った。伸びのある直球と打者のタイミングをずらす変化球がさえ、5回無安打6奪三振。「初回の先頭打者を大事にした。野手とコミュニケーションを取りながら良いリズムで投げられた」



【投手】 打安点振球 30010 20001 30020 20011 31010 30000 20011 20000 20020 00041 221083

【投手】 打安点振球 30010 20001 30020 20011 31010 30000 20011 20000 20020 00041 221083

【帯三条】 打安点振球 33101 00000 30001 00000 41210 31001 42210 00000 11001 10010 00000 10011 10000 00001 40000 22101 00000 2710647

回者球数安振球責 212 483 232 319 647 035 14 200 210 山田 517 680 620 古川 28 351 210

## 磨いた直球 初陣勝利導く

球を投げ込み、投球の4割を占めたチェンジアップが低めに決まった。夏で持ち味の直球に磨きがかかった。球速以上に速く感じる「回転数が多いキラのあるボール」を目指して、エンゼルスの大谷翔平にも練習直球で空振りを取れると評価する。9年ぶり18度目の支部代表を目指す。

【投手】 打安点振球 30010 20001 30020 20011 31010 30000 20011 20000 20020 00041 221083

# 帯大谷4強

## 帯柏葉に10-5

を破る2点適時二塁打で粘る帯柏葉を振り切った。投手では四回から救援した1と4点を追う三回でも2番手の渡邊が4回無失点5奪三振の好救援で流れを引き寄せた。

【帯柏葉】 打安点振球 40020 50000 43200 43100 30031 30020 41100 40010 31111 21063 348592

【帯大谷】 打安点振球 40110 53000 10001 31020 40001 30011 11200 20111 10001 21011 20002 21001 25092 327469

【Aブロック1回戦・帯大谷ー帯柏葉】 8回1死、帯大谷の糸瀬拓未が中前打を放ち猛攻の口火を切る (金野和彦撮影)



最後までもつと楽に勝った試合。葉打線の粘りに苦しみが、投手を守備が支えられなかったと硬い表情を崩した。帯大谷は先発投手の糸瀬拓未(2年)は、網野元監督は「もらった点数がほとんどで、負けて

## 助っ人選手に感謝

帯柏葉・澤田柚月主将(2年)の話 助っ人の選手には感謝してもし切れないくらい。個人的には初回に崩れてから修正できなかった。技術的、精神的に未成熟で視野が狭い。人数が少ないからこそ責任感を持つて取り組んでいきたい。

志朗(1年)の初安打をきっかけに得点まであと一歩に迫るなど意地を見せ、菊地主将は「練習の成果を発揮できた部分もあった」。新チーム始動後の釧路遠征では武修館や釧路工といったチームと対戦して勝利。主力の2年生を中心に力をつけており、菊地主将は「冬の間に投手力を高めよう」と来春を見据えていた。